

<細胞像問題>

問題 1 80 歳代、男性。尿道腫瘤、自然尿。

1. カンジダ症
2. クラミジア症
3. トリコモナス症
4. 小細胞癌
5. 尿路上皮癌

問題 2 20 歳代、女性。月経不順、子宮内膜、エンドサイト。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. Arias-Stella 反応
4. 子宮内膜異型増殖症
5. 類内膜癌 G3

問題 3 50 歳代、男性。肺門部リンパ節腫脹、リンパ節、穿刺吸引。

1. 壊死性リンパ節炎
2. サルコイドーシス
3. 腺癌の転移
4. 多形癌の転移
5. 肉腫の転移

問題 4 80 歳代、男性。頸部リンパ節腫大、リンパ節、穿刺吸引。

1. 壊死性リンパ節炎
2. サルコイドーシス
3. MALT リンパ腫
4. ホジキンリンパ腫
5. びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫

問題 5 70 歳代、女性。血尿、膀胱カテーテル尿。

1. アンブレラ細胞
2. 小細胞癌
3. 扁平上皮癌
4. 尿路上皮癌
5. リンパ腫

問題 6 30 歳代、女性。前頸部腫瘤、 穿刺吸引。

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 乳頭癌
4. 髓様癌
5. 未分化癌

問題 7 80 歳代、男性。手指の運動障害、 脳病変切除検体、捺印。

1. ウイルス感染
2. 髄膜腫
3. 下垂体腺腫
4. 神経膠腫
5. リンパ腫

問題 8 40 歳代、女性。検診、子宮腔頸部、綿棒擦過。

1. NILM (濾胞性頸管炎)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. AGC (分葉状頸管腺過形成)
5. AIS (上皮内腺癌)

問題 9 40 歳代、女性。乳腺腫瘤、穿刺吸引。

1. 嚢胞
2. 線維腺腫
3. 髓様癌
4. 小葉癌
5. 悪性葉状腫瘍

問題 10 60 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、サイトブラシ。

1. 結核性子宮内膜炎
2. 子宮内膜異型増殖症
3. 類内膜癌 G1
4. 漿液性癌
5. 癌肉腫

問題 11 50 歳代、女性。口腔底部腫脹、口腔底、穿刺吸引。

1. 粘液嚢胞
2. 類表皮嚢胞
3. 多形腺腫
4. リンパ管腫
5. 粘表皮癌

問題 12 60 歳代、女性。膵体部腫瘍、 EUS-FNA。

1. 自己免疫性膵炎
2. 充実性偽乳頭状腫瘍
3. 神経内分泌腫瘍
4. 膵管癌
5. リンパ腫

問題 13 40 歳代、女性。不正性器出血、卵巣腫瘍、捺印。

1. 線維腫
2. 成熟奇形腫
3. 卵黄嚢腫瘍
4. 成人型顆粒膜細胞腫
5. セルトリ・ライディツヒ細胞腫

問題 14 80 歳代、男性。咳嗽・労作時息切れ、 胸水。

1. 反応性中皮
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性中皮腫
5. リンパ腫

問題 15 70 歳代、男性。咳嗽、気管支腫瘍、穿刺吸引。

1. 硬化性肺胞上皮腫
2. カルチノイド腫瘍
3. 腺様嚢胞癌
4. 扁平上皮癌
5. リンパ腫

問題 16 70 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、エンドサイト。

1. 萎縮性内膜
2. 増殖期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 類内膜癌 G3

問題 17 40 歳代、女性。卵巣腫瘍、術中腹水。

1. 反応性中皮
2. 類内膜癌 G1
3. 高異型度漿液性癌
4. 明細胞癌
5. 悪性中皮腫

問題 18 40 歳代、女性。帯下、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM (子宮頸管炎)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌 (粘液型)

問題 19 80 歳代、男性。大腿部腫脹、大腿骨骨腫瘍、捺印。

1. 血管腫
2. Langerhans 細胞組織球症
3. 巨細胞腫
4. 軟骨肉腫
5. 滑膜肉腫

問題 20 40 歳代、女性。帯下、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM (頸管腺細胞)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌 (通常型)

問題 21 30 歳代、女性。検診、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM (頸管腺細胞)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌 (通常型)

問題 22 40 歳代、女性。口蓋腫瘍、 穿刺吸引。

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

問題 23 20 歳代、男性。夜間呼吸困難、喀痰。

1. 食物残渣
2. アスベスト小体
3. シュウ酸カルシウム結晶
4. シャルコー・ライデン結晶
5. 扁平上皮癌

問題 24 70 歳代、男性。右下肺野に多発する粒状影、気管支擦過。

1. 肺結核症
2. サルコイドーシス
3. クリプトコッカス症
4. 過誤腫
5. 小細胞癌

問題 25 70 歳代、女性。子宮頸癌治療中、子宮腔頸部、綿棒。

1. NILM (放射線性変化)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. HPV 関連腺癌 (通常型)

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 細胞検査士の1日の検査検体数量は200枚までである。
2. 細胞診専門医は細胞診実施施設に常勤でなければならない。
3. 陰性標本の5%以上において細胞診でのダブルチェックを行う。
4. 細胞診業務の担当者は年2回の学術集会や研修会等への参加が必須である。
5. 臨床的に病名診断が求められる陰性症例は細胞診専門医の判定が必要である。

問題 27 がん検診について誤っているのはどれか。

1. 検診対象者は無症状である。
2. アウトカム指標にはがん死亡率がある。
3. プロセス指標にはがん検診受診率がある。
4. 任意型検診は公共的な医療サービスのひとつである。
5. 「がん検診アセスメント」・「がん検診マネジメント」・「受診率対策」が重要である。

問題 28 液状化検体細胞診について誤っているのはどれか。

1. 遺伝子検索に不向きである。
2. 免疫染色の施行が容易である。
3. 乾燥に伴う不適性標本を減少させる。
4. 直接塗抹法に比べ背景所見は減弱する。
5. 固定液に細胞を浮遊させるため細胞形態に変化が生じる。

問題 29 染色法について正しいのはどれか。

1. 真菌 — PAS 反応
2. 抗酸菌 — グロコット染色
3. 間質粘液 — ムチカルミン染色
4. 中性粘液 — アルシアン青染色
5. グリコーゲン — ズダン III 染色

問題 30 次の疾患における各免疫染色の染色局在について正しいのはどれか。

1. 乳癌 HER2 — 細胞質
2. 肺腺癌 TTF-1 — 核
3. 前立腺癌 PSA — 核
4. 子宮頸癌 p16<sup>INK4a</sup> — 細胞膜
5. 肺扁平上皮癌 p40 — 細胞質

問題 31 子宮頸部細胞診について正しいのはどれか。

1. 妊娠中は綿棒による採取が推奨される。
2. 舟状細胞は妊娠に関連した変化である。
3. 閉経後の SCJ は子宮頸管外に位置する。
4. 低エストロゲン状態では表層細胞が優位となる。
5. デーデルライン桿菌による細胞融解は基底細胞に限られる。

問題 32 LSIL/CIN1 について正しいのはどれか。

1. 半数以上が HSIL に進展する。
2. 腫瘍性病変として治療対象となる。
3. ハイリスク HPV の関与は稀である。
4. 表層細胞型の異型細胞が主体である。
5. 診断にはコイロサイトーシス所見が必須である。

問題 33 子宮内膜細胞診について正しいのはどれか。

1. 対策型検診の有効性が証明されている。
2. 子宮体癌の陽性的中率は 40 - 50% である。
3. 核分裂像が認められれば陽性と判定する。
4. 類内膜癌 G1 は G3 に比べ細胞間の結合性が弱い。
5. 子宮内膜増殖症が推定される場合は陰性と判定する。

問題 34 性器感染症と細胞所見について誤っている組み合わせはどれか。

1. カンジダ感染 — 仮性菌糸
2. トリコモナス感染 — cannon ball
3. ガードネレラ感染 — clue cell
4. 尖圭コンジローマ — koilocyte
5. レプトトリックス感染 — 核内封入体

問題 35 卵巣腫瘍と関連する遺伝子異常の正しい組み合わせはどれか。

1. 粘液性癌 — *KRAS*
2. 明細胞癌 — *FOXL2*
3. 高異型度漿液性癌 — *ARID1A*
4. 成人型顆粒膜細胞腫 — *TP53*
5. 輪状細管を伴う性索腫瘍 — *BRCA1*

問題 36 子宮の漿液性癌について正しいのはどれか。

1. 子宮外への進展は少ない。
2. エストロゲン非依存性である。
3. 閉経前の若年者に好発する。
4. 子宮内膜増殖症を高頻度に合併する。
5. 漿液性卵管上皮内癌 (STIC) を由来とする。

問題 37 喀痰細胞診について正しいのはどれか。

1. E 判定の場合は再検査を行う。
2. 早朝起床時の喀痰を採取する。
3. 塗抹後は乾燥させてから固定する。
4. 正常上皮細胞のみの場合は A 判定である。
5. 喀痰が検査に耐えうる時間は冷蔵庫に保管した場合は 3 日以内である。

問題 38 肺腫瘍と細胞所見の組み合わせについて誤っているのはどれか。

- |             |   |           |
|-------------|---|-----------|
| 1. 腺癌       | — | 核内細胞質偽封入体 |
| 2. 過誤腫      | — | 軟骨成分      |
| 3. 腺様嚢胞癌    | — | 粘液球       |
| 4. 扁平上皮癌    | — | 流れ状配列     |
| 5. 硬化性肺胞上皮腫 | — | ロゼット様構造   |

問題 39 尿細胞診について正しいのはどれか。

1. 早朝尿での標本作製が望ましい。
2. 尿細胞診では、腎細胞癌の診断感度は高い。
3. 尿路上皮癌の腫瘍細胞はアンブレラ細胞と呼ばれる。
4. カテーテル尿では、集塊状の尿路上皮細胞が出現しやすい。
5. 高齢女性の尿細胞診で腺癌細胞を認めた場合、第一に尿膜管癌を疑う。

問題 40 尿細胞診にみられる所見と病原体の関係について正しいのはどれか。

- |                   |   |            |
|-------------------|---|------------|
| 1. 多核細胞           | — | パピローマウイルス  |
| 2. デコイ細胞          | — | ポリオーマウイルス  |
| 3. 類上皮細胞          | — | 単純ヘルペスウイルス |
| 4. コイロサイトーシス      | — | サイトメガロウイルス |
| 5. 核内封入体(Owl eye) | — | 抗酸菌        |



問題 41 臍細胞診について正しいのはどれか。

1. 充実性偽乳頭状腫瘍では、嚢胞形成は少ない。
2. 腺房細胞癌では、細胞質内に豊富な粘液がみられる。
3. 高分化型神経内分泌腫瘍の核クロマチンはごま塩状を呈する。
4. 臍液・臍管擦過細胞診は、臍粘液嚢胞性腫瘍の診断に有用である。
5. 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA)は、嚢胞性病変の診断に有用である。

問題 42 乳腺穿刺吸引細胞診について正しいのはどれか。

1. 髄様癌では、背景に多量の粘液がみられる。
2. 浸潤性小葉癌では、数珠状配列がみられる。
3. 非浸潤性乳管癌では、壊死性背景はみられない。
4. 乳管内乳頭腫では、細胞集塊に筋上皮細胞はみられない。
5. アポクリン分化を示す細胞が出現する時は、アポクリン癌と判定できる。

問題 43 甲状腺がんの特徴的な細胞像として正しい組み合わせはどれか。

- |         |   |          |
|---------|---|----------|
| 1. 濾胞癌  | — | 核溝       |
| 2. 乳頭癌  | — | アミロイド物質  |
| 3. 髄様癌  | — | ローピーコロイド |
| 4. リンパ腫 | — | 砂粒体      |
| 5. 未分化癌 | — | 壊死性背景    |

問題 44 悪性中皮腫細胞の形態的特徴で誤っているのはどれか。

1. 多核細胞
2. 乳頭状集塊
3. 細胞の小型化
4. Hump 状細胞突起
5. ライトグリーン好性細胞質

問題 45 口腔悪性黒色腫について誤っているのはどれか。

1. 多くは潰瘍形成を伴う。
2. 扁平上皮癌より予後が良い。
3. 口蓋や上顎歯肉に好発する。
4. 肉眼的に黒色であるとは限らない。
5. 周囲組織への浸潤性増殖が著明である。

## 選択問題 A

問題 46 ベセスダ分類に関して正しいのはどれか。

1. ASC-US の約 20% にハイリスク HPV が検出される。
2. HPV 感染以外による炎症所見は ASC-US に分類する。
3. ASC-US は、全報告の 5% 程度であることが期待される。
4. ASC-H は、全 ASC の 20% 以下であることが期待される。
5. ASC-H に対して、HPV-DNA 検査が保険収載されている。

問題 47 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. AIS と HSIL が併存することはない。
2. 中腎型腺癌は HPV 関連腺癌である。
3. 胃型腺癌は Peutz-Jeghers 症候群との関連が知られている。
4. WHO 分類第 5 版から頸部腺癌の分類に漿液性癌が追加された。
5. 通常型内頸部腺癌は分葉状頸管腺過形成 (LEGH) を発生母地とする。

問題 48 子宮内膜の生理的変化について正しいのはどれか。

1. 増殖初期 — 核上空胞
2. 増殖中期 — 間質細胞の凝集
3. 分泌初期 — 核下空胞
4. 分泌中期 — 偽脱落膜反応
5. 分泌後期 — 核の偽重層

問題 49 体腔液細胞診について正しいのはどれか。

1. 子宮頸癌の進行期決定に必要である。
2. 子宮体癌の進行期決定に必要である。
3. 子宮平滑筋肉腫の進行期決定に必要である。
4. 卵巣癌の進行期において、胸水貯留は IVA 期である。
5. 卵巣癌の進行期において、腹水細胞診陽性は IC3 期である。

問題 50 HPV ワクチンについて正しいのはどれか。

1. 日本では男性への接種適応はない。
2. 接種歴が確認されれば子宮頸がん検診は不要である。
3. 日本で公費負担となるワクチンは 4 価と 9 価の 2 種類である。
4. 予防接種法による対象年齢を過ぎた場合、接種は不可となる。
5. 接種後の副反応とされた多様な症状との因果関係は証明されなかった。

選択問題 B

問題 51 小細胞癌の細胞像として適切でないのはどれか。

1. 核線
2. 一列縦隊
3. 核縁不明瞭
4. 著明な核小体
5. 木目込み様配列

問題 52 脳腫瘍の免疫染色との組み合わせで適切でないのはどれか。

1. 上衣腫 — EMA
2. 膠芽腫 — IDH1
3. 星細胞系腫瘍 — GFAP
4. Schwann 細胞腫 — Olig2
5. びまん性正中膠腫 — H3K27me3

問題 53 セミノーマについて誤っているのはどれか。

1. 若年発生
2. c-kit 陽性
3. two-cell pattern
4. Schiller-Duval body
5. PLAP(胎盤性アルカリフォスファターゼ)陽性

問題 54 疾患名と免疫組織化学陽性所見との組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 脊索腫 — brachyury
2. 滑膜肉腫 — EMA
3. 類上皮肉腫 — SMARCB1 (INI1)
4. Ewing 様肉腫 — BCOR
5. 脱分化型脂肪肉腫 — MDM2

問題 55 組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 菊池病 — 核片貪食組織球
2. IgG4 関連疾患 — 好酸球
3. サルコイドーシス — 類上皮細胞
4. Diffuse large B cell lymphoma — lymphoglandular body
5. Marginal zone B cell lymphoma — 単球様 B 細胞

## 選択問題 C

問題 56 口腔扁平上皮癌の好発部位はどれか。

1. 舌
2. 口唇
3. 歯肉
4. 口蓋
5. 頬粘膜

問題 57 口腔扁平上皮癌細胞に特徴的な所見で誤っているのはどれか。

1. 光輝性
2. 中心性核
3. 有尾状細胞
4. 細胞相互封入像
5. 核内細胞質封入体

問題 58 口腔細胞診の判定区分で OLSIL に相当する推定診断はどれか。

1. 単純疱疹
2. 尋常性天疱瘡
3. 口腔扁平苔癬
4. 口腔カンジダ症
5. 低異型度上皮異形成

問題 59 良性間葉性歯原性腫瘍はどれか。

1. 歯牙腫
2. 歯原性粘液腫
3. 腺腫様歯原性腫瘍
4. エナメル上皮線維腫
5. 象牙質形成性幻影細胞腫

問題 60 ヘルペス口内炎でみられない細胞所見はどれか。

1. 多核細胞
2. 核内封入体
3. 核の圧排像
4. すりガラス状核
5. オタマジヤクシ状細胞

<検鏡問題>

総合科

**【総合科1】** 30歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 ブルーム

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（頸管腺細胞）
2. NILM（カンジダ感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 角化型扁平上皮癌

**【総合科2】** 60歳代・女性 検診 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（萎縮性膣炎）
2. NILM（カンジダ感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 角化型扁平上皮癌

**【総合科3】** 40歳代・女性 検診 子宮腔頸部 綿棒

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. NILM（ヘルペス感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 角化型扁平上皮癌

**【総合科4】** 70歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（カンジダ感染）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. HPV非依存性腺癌（胃型）

**【総合科5】** 70歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（萎縮性膣炎）
2. HSIL/CIN3
3. 非角化型扁平上皮癌
4. HPV関連腺癌（通常型）
5. 神経内分泌癌（小細胞型）

**【総合科6】** 40歳代・女性 月経不順 子宮内膜 ソフトサイト

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 異型ポリープ状腺筋腫
4. 類内膜癌 G1
5. 低異型度子宮内膜間質肉腫

**【総合科7】** 40歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 内膜吸引

問題13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題14 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 類内膜癌 G1
4. 類内膜癌 G3
5. 低異型度子宮内膜間質肉腫

**【総合科8】** 40歳代・女性 子宮体部腫瘍 腫瘍捺印

問題15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題16 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 腺筋腫
2. アデノマトイド腫瘍
3. 異型ポリープ状腺筋腫
4. 平滑筋肉腫
5. 胎盤部トロホブラスト腫瘍

**【総合科9】** 50歳代・女性 検診異常 卵巣嚢胞性病変捺印

問題17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題18 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 子宮内膜症性嚢胞
2. 漿液性嚢胞腺腫
3. 成人型顆粒膜細胞腫
4. 粘液性境界悪性腫瘍
5. 高異型度漿液性癌

**【総合科10】** 60歳代・女性 外陰部発赤 外陰部 綿棒

問題19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題20 推定診断として最も適切なのはどれか

1. ヘルペス感染
2. LSIL/VIN1
3. 扁平上皮癌
4. 悪性黒色腫
5. 乳房外 Paget 病

**【総合科11】** 70歳代・男性 肺腫瘍 気管支擦過

問題21 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題22 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 硬化性肺胞上皮腫
2. 腺癌
3. 粘表皮癌
4. 小細胞癌
5. 扁平上皮癌

**【総合科12】** 70歳代・男性 胸部異常陰影 気管支擦過後浮遊液

問題23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題24 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 硬化性肺胞上皮腫
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 扁平上皮癌
5. 大細胞神経内分泌癌



**【総合科13】 70歳代・女性 咳嗽 喀痰**

問題25 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題26 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 真菌性肺炎
2. ウイルス性肺炎
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 扁平上皮癌

**【総合科14】 80歳代・男性 肉眼的血尿 膀胱洗浄液**

問題27 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題28 推定診断として最も適切なのはどれか

1. Decoy 細胞
2. 尿路上皮乳頭腫
3. 小細胞癌
4. 尿路上皮癌
5. リンパ腫

**【総合科15】 60歳代・男性 胃粘膜下腫瘍 EUS-FNA**

問題29 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題30 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 異所性腭組織
2. 神経内分泌腫瘍
3. 腺癌
4. 神経内分泌癌
5. 胃消化管間質腫瘍

**【総合科16】** 70歳代・女性 乳房腫瘍 穿刺吸引

問題3 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題3 2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 乳腺症
2. 線維腺腫
3. 髄様癌
4. 粘液癌
5. 乳管癌

**【総合科17】** 70歳代・女性 甲状腺腫瘍 穿刺吸引

問題3 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題3 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 乳頭癌
4. 未分化癌
5. リンパ腫

**【総合科18】** 40歳代・女性 耳下部腫脹 穿刺吸引

問題3 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題3 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

**【総合科19】** 30歳代 女性 鎖骨上リンパ節腫脹 穿刺吸引

問題37 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題38 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 壊死性リンパ節炎
2. サルコイドーシス
3. MALTリンパ腫
4. ホジキンリンパ腫
5. びまん性大細胞型B細胞リンパ腫

**【総合科20】** 70歳代・女性 子宮癌治療中 心嚢液貯留 穿刺吸引

問題39 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題40 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性中皮
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性中皮腫
5. リンパ腫

## 歯科

### **【歯科1】** 60歳代・女性 頬粘膜白色病変 ブラシ(LBC)

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（口腔扁平苔癬／炎症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

### **【歯科2】** 70歳代・男性 歯肉潰瘍 ブラシ

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

### **【歯科3】** 40歳代・女性 舌下面びらん ブラシ

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（単純疱疹）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

**【歯科4】** 50歳代・男性 口蓋粘膜びらん ブラシ(LBC)

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

**【歯科5】** 60歳代・男性 頬粘膜潰瘍 ブラシ

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（単純疱疹）
2. NILM（口腔カンジダ症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

**【歯科6】** 50歳代・男性 歯肉腫瘍 捺印

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なのはどれか

1. エプーリス
2. 神経鞘腫
3. 顆粒細胞腫
4. 扁平上皮癌
5. 悪性黒色腫

**【歯科7】** 80歳代・女性 オトガイ下部瘻孔 排出物塗抹

問題13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題14 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 顎放線菌症
2. 粘液嚢胞
3. 類皮嚢胞
4. 粘表皮癌
5. 扁平上皮癌

**【歯科8】** 60歳代・男性 顎骨腫脹 穿刺吸引

問題15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題16 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 顎放線菌症
2. 歯根嚢胞
3. 歯原性角化嚢胞
4. エナメル上皮腫
5. 原発性骨内癌、NOS

**【歯科9】** 60歳代・男性 耳下腺腫脹 穿刺吸引

問題17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題18 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺房細胞癌

**【歯科10】** 70歳代・男性 耳下腺腫脹 穿刺吸引

問題19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題20 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

**【歯科11】** 50歳代・男性 顎下リンパ節腫脹 捺印

問題21 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題22 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 転移性腫瘍（悪性黒色腫）
5. リンパ腫

**【歯科12】** 70歳代・男性 頸部リンパ節腫大 穿刺吸引

問題23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題24 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 反応性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 転移性腫瘍（悪性黒色腫）
5. リンパ腫